

建築用仕上塗材の現状と将来展望

The Present Conditions and the Future Prospects of Masonry Coatings

井上 照郷

キーワード：建築物、仕上塗材、規格、要求性能、維持保全

Keywords: Building, Masonry coatings, Standard, Performance requirement, Maintenance

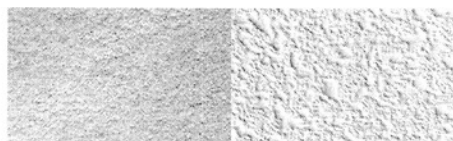
1. 建築用仕上塗材とは¹⁾

建築用仕上塗材（けんちくようしあげぬりざい）は、ミクロン単位で施工される塗料と異なり数ミリ単位の比較的厚膜に施工される塗材で、模様、色、機能などは多種多様である。材料の品質は JIS A 6909（建築用仕上塗材）に規定されているが、その適用範囲では「この規格は、セメント、合成樹脂などの結合材、顔料、骨材などを主原料とし、主として建築物の内外壁又は天井を、吹付け、ローラー塗り、こて塗りなどによって立体的な造形性をもつ模様仕上げる建築用仕上塗材について規定する。」とされている。

補足すると「建築物の内外壁又は天井の表面に、ある種の造形的な模様を与えると同時に、必要に応じて着色・つや出しを行い、吹付け、こて塗り、ローラー塗り又ははけ塗りによって施工する美装と保護を目的とした仕上材で、その模様は砂壁状、ゆず肌状、スチップル状、凹凸状（凸部処理含む）、クレーター状、スタッコ状などがあり、凸部分の厚さが0.5～15mm程度の仕上材」といったものである。

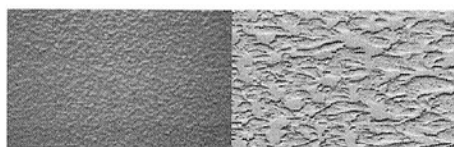
図1～図3に施工方法の違いによる主な仕上がり模様の例を示す。

なお、建築用仕上塗材（以下、仕上塗材とい



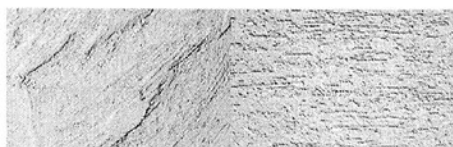
(砂壁状模様) (凹凸状模様)

図1 吹付けによる模様の例



(ゆず肌状模様) (特殊模様)

図2 ローラー塗りによる模様の例



(特殊模様) (特殊模様)

図3 こて塗りによる模様の例

う。)は塗料と混同されやすいが、両者の違いを参考として表1に示す。

建築物の仕上げとしては、古くから左官仕上げ、塗装仕上げ、吹付け仕上げ、壁装仕上げなどがある。

左官による塗壁は、下地づくりを含めて塗厚が厚く、表面を平たんかつ平滑に仕上げる場合が多い。また、塗装・壁装はともに左官により仕上げられた下地などにごく薄く塗料や壁紙・

2013年8月27日受付
INOUE Terusato